

高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2022愛知 実施要項【2022.1.8】

- 1 主 旨 (公財)愛知県サッカー協会は、(公財)日本サッカー協会が推進する年間を通したリーグ戦文化の定着の実現に向け本リーグを実施する。これを受けて県全体での拮抗したリーグ戦を行うことにより3種年代全体のレベルアップをはかる。
- 2 主 催 (公財)愛知県サッカー協会
- 3 主 管 (公財)愛知県サッカー協会3種委員会
- 4 後 援 愛知県
- 5 期 日 2022年2月～10月、各ブロック日程を調整して行う。
- 6 会 場 愛知県下サッカー場及び学校グラウンド
- 7 参加資格
 - (1) 原則として、(公財)日本サッカー協会に2022年5月31日までに第3種登録したチーム、及び2007年4月2日～2010年4月1日に生まれた選手で、2022年10月20日までに第3種登録された選手。
ただし、女子加盟チーム所属の選手については、学校チームに限りその中学校に在籍している者は、移籍手続きを行うことなく参加することができる。
 - (2) ただし、2チーム参加している場合(東海と県、県内)でも、日程が重ならないようにする等の配慮はしない。
 - (3) リーグの全日程に必ず参加できること。
 - (4) 有資格者の審判員を2名帯同できること。(そのうち1名は3級以上で、主審は3級以上の資格を有しているものを行うこと)
 - (5) 学校チームは学校長の承認があること。
 - (6) 参加チームは必ず傷害保険に加入していること。(学校チームにおいて、スポーツ振興センターに加入している選手はこの限りとしない)
※ 大会中に生じた事故やけがについて主催者は応急処置を行うが、それ以外の責任を負わない。
 - (7) 選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認めることとする。ただし、11名以上の選手を有するチーム同士の合同は適用対象外とする。
 - ① 合同するチームおよびその選手は、(1)を満たしていること。
 - ② 極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
 - ③ 県内同地区内での合同チームであること。
 - ④ リーグ戦の参加申込み手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行うこと。
 - ⑤ 合同チームとしての参加を愛知県3種委員長が別途了承すること。
- 8 出場チーム
TOPリーグ…12チーム
1部リーグ…12チーム
2部リーグ…24チーム(A・Bブロック)
3部リーグ…63チーム(A・B・C・Dブロック)
地区リーグ…6地区でのリーグ戦(ブロック等は各地区で決定)
- 9 競技方法
 - (1) TOP・1部リーグは12チームによるリーグを基本とし、ホーム or アウェイ2回戦総当たりの22試合を実施する。2部リーグは1ブロック12チームの1回戦総当たりを前期リーグとする。前期リーグの順位をもとに上位(各ブロック1～6位)と下位(各ブロック7～12位)に分かれ、後期リーグを行う。後期リーグは前期リーグと異なるブロックの6チームと対戦する。前期・後期リーグの計17試合の結果により順位を決定する。3部リーグは1回戦総当たりで試合を実施する。3部リーグは参加チーム数により、1ブロックのチーム数が増加・減少する場合がある。地区リーグにおいては地区の事情に応じてブロック数、各ブロックのチーム数等を決定する。
 - (2) 試合時間は70分(前後半35分)とする。
 - (3) ハーフタイムのインターバルは原則として前半終了から後半開始まで10分以内とする。
 - (4) 勝ち点は、勝ち3、引き分け1、負け0、とし勝ち点が同じ場合には、得失点差→総得点→当該成績によって順位を決定し、それでも決しない場合には抽選を行う。

10 競技規則

- (1) (公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則 2021/2022」による。競技規則に改訂があった場合の対応については、3種委員会において協議し、決定する。
- (2) 大会選手登録の事前エントリーはなしとする。(試合当日の提出のみ)
- (3) 試合当日に「メンバー表兼選手・スタッフ健康チェック表」(以下「メンバー表」と表記)を本部に2部提出する。ベンチ入りできる人員は最大35名(監督1名、コーチ4名以内、選手30名以内)とする。
- (4) 選手交代
 - 選手交代は7名以内とし、再交代を認めない。
 - 後半の交代回数を3回までとする。(1回に複数人交代することは可能)
後半のクーリングブレイク、飲水タイムのインターバルでの選手交代も、後半の選手交代の回数に含まれる。
- (5) 試合中の飲水について
新型コロナウイルス感染症対策として、試合中の飲水について以下のようにする。
 - 前後半それぞれ1回以上、必ず「飲水タイム」を設ける。(1分間を超えない)
 - 飲水時は必ずマイボトルで飲水し他者と共有しない。タオル等も共有しない。
 - 飲水タイム時はピッチから出てベンチ内のマイボトルで飲水する。他者のボトルに触ることを避ける。
 - マイボトルに限り、フィールドから1m離れた場所に設置したボトルで飲水できる。
- (6) 試合球は、JFA検定球(日本サッカー協会の定める規格に合格したボール)や、さらに厳しい規格である国際公認球(FIFA Quality PRO、FIFA Quality)を使用する。
- (7) 複数チームの監督を兼ねることはできない。(コーチを兼ねることは可)
- (8) 本大会において退場を命じられた選手、監督、コーチは、次の1試合に出場できず、以降の処置については、本大会規律フェアプレー委員会において決定する。
- (9) 本大会期間中に警告を3回受けた者は次の1試合に出場できない。

11 表彰 各リーグ1位を表彰(賞状・盾等)

12 ユニフォーム

- (1) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用すること。
- (2) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- (3) 主審が対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (4) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、着用する、または覆う部分のソックスの色と同じものでなければならない。2部、3部リーグは、着用するソックスと同色でなくても良いが、チーム内で同色のものを着用する。
- (6) アンダーシャツは、シャツの各袖の主たる色と同じ色で1色とする。または、シャツの各袖とまったく同じ色の柄にする。2部、3部リーグは、アンダーシャツの色は問わないがチーム内で同色のものを着用する。
- (7) アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者は、同色のものを着用しなければならない。2部、3部リーグは、アンダーショーツおよびタイツの色は問わないが、チーム内で同色のものを着用する。
- (8) シャツの前面・背面に選手番号をつけること。また、シャツの前面にはチーム名称もしくはマークが入っていること。ショーツにも背番号と同一の番号をつけることが望ましい。
- (9) ユニフォームへの広告表示については(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき、承認された場合のみ認める。ただし、(公財)日本中学校体育連盟加盟チームは規程によりこれを認めない。
- (10) その他については(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。

13 その他

- (1) 各試合の60分前までに登録選手の選手証(写真添付により、顔の認識ができるもの)と「メンバ

- 一表」2部を本部に提出する。先発選手は試合開始5分前に本部前にてメンバーチェックを行う。
- (2) 「2チーム参加しているチーム」のセカンドチームは、ファーストチームと同じリーグに所属しないこととする。ただし、ファーストチームが3部に所属する場合は同じブロックに所属しないものとする。
- (3) **ブロック選手制について**
 東海リーグにおいてはブロック選手を指定しており、ブロック指定された選手は、県リーグへの出場が認められていない。
 本リーグ戦も同様にブロック選手制を導入する。ただし、「2チーム参加しているチーム」の**ファーストチームに所属する選手14名**をブロック選手として指定することとする。指定された選手は、セカンドチームでの出場は認められない。
 「メンバー表」の**通番1～14をブロック選手**とする。
- ブロック外選手の試合経験を確保することを目的としており、原則、以下の考えに基づき、チームはブロック選手を指定する。
 - ▶ 原則、チーム内のベスト14名をブロック選手とする。
 - ▶ 原則、GK1名、FP13名を指定する。
 - ▶ けがをしている選手をブロック選手に指定する等、目的に反することがないように指定する。
 - 目的に反してブロック選手を指定していることが明らかな場合は、県3種委員会からチーム代表者に指導を行う場合がある。
 - **セカンドチームは、試合開始60分前に「メンバー表」2部に加えて、ファーストチームの「メンバー表」1部を本部に提出する。**
 - 県3種委員会、県リーグのブロック長は、ブロック選手が下位リーグに出場することがないように管理し、リーグに所属するチームから報告や照会があった場合は、提出された「メンバー表」等を開示する。
 - ブロック選手の変更期間
 - ▶ TOP、1部に所属するファーストチーム
 - ①各チームの5節、6節、②各チームの11節、12節、③各チームの17節、18節
上記の3回とする。
 - ▶ **2部に所属するファーストチーム**
 - ①前期リーグ各チームの5節、6節、②前期リーグ終了時
上記の2回とする。
 - ▶ 3部所属のファーストチーム
 - ①各チームの5節、6節、②各チームの10節、11節
上記の2回とする。
 - 上記期間中にブロック選手を変更した場合は、ブロック長に「メンバー表」を提出する。

(4) 本リーグに参加しているチーム間での選手の移籍は移籍規定に則り認める。

(5) クラブ申請したチームに所属し、第4種登録されている小学校6年生の選手(2022年度に中学校1年生の選手)については、第4種の選手証を提示すれば、2021年度内(3月31日まで)の試合に出場できる。※他クラブに所属している第4種選手は第3種登録すれば出場できる。

(6) 複数チームの参加は認めるが2チームまでとする。

(7) 重大な違反をしたチームは3種委員会の規律委員会にてその処罰を決定する。

(8) 愛知県下に午前6時に暴風(暴風雪)警報が発令されていた場合は、その日の大会を延期する。

(9) 午前6時に大雨警報や洪水警報が出ており、会場運営ができず、試合を中止する場合は、リーグ長に連絡の後、会場担当のチームで該当チームに連絡をすること。

(10) 試合中に雷が発生し、試合が続行不可能になった場合は、続行不可能になった時点での得点・残り時間で、再び試合を行う。(同審判で行えない場合もある)

(11) TOPリーグの優勝、準優勝チームは、11月に開催される高円宮杯JFA第34回全日本U-15サッカー選手権大会東海大会の出場権を得られる。ただし、セカンドチームには東海大会の出場権を与えない。

(12) 大会要項に規定されていない事項については、3種委員会において協議の上決定する。

14 新型コロナウイルス感染症対策

- (1) 本大会の感染対策責任者を【リーグ統括 橋詰誠】とする。
- (2) チームは必ず感染対策責任者を設置する。チーム感染対策責任者はチームの感染対策をしっかりと行うこと。
- (3) 「メンバー表」に感染対策責任者を決めて必ず明記すること。(スタッフ氏名を○で囲む)
- (4) チーム感染対策責任者は、試合当日の「参加チーム用新型コロナウイルス対応チェックリスト」を作成し、保管しておく。また、「健康チェックシート」(2週間以上前から記録が必要)を選手に記録・提出させ、上記「チェックリスト」とともに、少なくとも1ヶ月間保管しておく。
- (5) チーム感染対策責任者は、試合当日に監督と協力して「メンバー表」の作成にあたり、体調に問題がないことを確認して本部に提出する。(記載に不備がある場合は、試合への参加を認めないことがある)
- (6) その他対策については、資料①「公式戦における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対策(参加チーム向け)について」や資料②「選手及びチーム関係者等の新型コロナウイルス感染またはその疑いへの対応について」を参照すること。

15 昇降格規定

県リーグから東海リーグへの昇格数は0または1であり、東海リーグに所属する県内チームが県リーグへ降格する数は0、1、2のいずれかである。これにより、次年度の東海リーグと県リーグのチーム数の増減は以下の4パターンである。

- ① 県リーグ(-1) 東海リーグへ昇格したのみ
- ② 県リーグ(±0) 東海リーグへ昇格0、降格0または昇格1、降格1
- ③ 県リーグ(+1) 東海リーグへ昇格0、降格1または昇格1、降格2
- ④ 県リーグ(+2) 東海リーグへ昇格0、降格2

昇降格に関わるチームは上記①～④により変わるが、②の場合を基本ラインとして下記の(1)～(4)の昇降格を規定する。ただし、セカンドチームが昇降格に関係する場合や次年度の本リーグへの参加状況などにより、基本ライン通りのチーム数の増減にならない場合がある。また、下記(5)にあるように3部リーグからの昇格の可能性を高め、活性化を図ることを目的としてプレーオフを実施する。

- (1) TOPリーグ
TOPリーグの1位が来年度東海リーグ参入戦に参加する権利を得る。これについては、東海リーグの昇降格規定による。下位2チームを降格とする。
- (2) 1部リーグ
上位2チームはTOPリーグへ昇格とする。下位2チームを2部リーグへ降格とする。
- (3) 2部リーグ
上位リーグの上位2チームは1部リーグへ昇格とする。
下位リーグの下位4チームを3部リーグへ降格とする。降格チームを除く下位4チームはプレーオフを行う。
- (4) 3部リーグ
各ブロックの上位1チーム(計4チーム)は2部リーグへ昇格とする。
各ブロック2位、3位チーム(計8チーム)はプレーオフを行う。
- (5) プレーオフについて
トーナメント形式で行う。1回戦は3部リーグの8チームとし、2位と3位の対戦とする。
(11月中旬を予定)
勝者は2部リーグからプレーオフに参加する4チームと対戦し2部残留・昇格を決める。
(12月中旬を予定)
(ア) 本リーグ戦と競技方法は変更しない。
(イ) 3部同士の対戦について
引き分けの場合、10分間の延長戦を行い、さらに勝敗が決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。
(ウ) 2部と3部の対戦について
引き分けの場合、2部リーグ所属チームの勝ちとする。
(エ) 3部同士の対戦カードは抽選にて決定する。

3部リーグの2位、3位決定後に抽選を行う。抽選日は各チームに連絡する。抽選を欠席する場合は、役員による代理抽選を行う。

- 東海リーグが昇降格を行わない場合、本リーグも昇降格を行わない。
- 昇降格は行われるが、リーグ戦全日程の消化が期日までにできない場合、リーグ戦全日程の50%の消化（一巡目）でリーグ成立（順位決定）とする。その場合の高円宮杯JFA第34回全日本U-15サッカー選手権大会東海大会の出場権は、一巡目の結果によりTOPリーグ1位、2位に出場権を与えることとする。ただし、セカンドチームには東海大会の出場権を与えない。
- 他のリーグ戦全日程の消化が期日までにできない場合でも、2部、3部リーグについては、可能な限り全日程を消化することに努める。

16 参加申込み

昨年度のリーグ戦(高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2021愛知)に参加したチームは、本リーグ戦に参加するものと見なします。

(1) 昨年度のリーグ戦に参加したクラブチーム

- 今年度も継続して参加をするクラブチーム
愛知県サッカー協会のホームページに掲載されている「参加予定チーム一覧」にてチーム名を確認してください。
- 今年度の参加を辞退するクラブチーム
【リーグ統括 橋詰誠】に連絡をしてください。

(2) 昨年度のリーグ戦に参加した中学校チーム

- 今年度も継続して参加をする中学校チーム
愛知県サッカー協会のホームページから参加申込用紙をダウンロードし、学校長及び監督捺印の上、監督会議に持参してください。
- 今年度の参加を辞退する中学校チーム
【リーグ統括 橋詰誠】に連絡をしてください。

(3) 新規に参加を希望するすべてのチームは、【リーグ統括 橋詰誠】へ連絡をしてください。

新規参入希望、辞退チームの連絡期限：2021年12月8日(水)

17 参加費

参加費は徴収しない。

18 監督者会議

日時：2022年1月8日(土) 18:30～(TOP、1部リーグに所属するチーム)
19:30～(2部、3部リーグに所属するチーム)

場所：愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 1103会議室
(〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

提出物：中学校チームのみ、参加申込用紙の提出が必要です。忘れずに持参してください。
その他のチームは特に提出する物はありません。

19 リーグの組み合わせ・試合結果

東海クラブユースサッカー連盟HP：www.tokai-jey.com

(Other3種、U-15League、愛知、試合結果2022)

問い合わせ先

【リーグ統括 橋詰誠】 TEL:090-4860-8343 Mail:hashizume@nagoyafc.net
【競技委員長 伊藤芳樹】 TEL:080-1139-9498